

期待

太陽の目が変わるそうだ
きたる季節に何を見るか
何を感じようか

海の潮の匂いに
肌の焦げた匂いが重なる

一面に広がる砂浜の上で
西瓜が血を撒き散らす

申し訳程度の横風に
吊るされた水母が音を鳴らす

この日差し、この刺激
一周期前の景色が
脳裏に鮮明に蘇る

視界の狭間から
微かに響く夏の囁きに
今度は何を乗せようか

原田翔真